

講義ユニット名	血液		所属科目名	器官・システム病態制御学Ⅱ
講義ユニット 責任者	いちのへ たつお 一戸 辰夫	所属	血液内科 (内線 5858)	
		メール	nohe@hiroshima-u.ac.jp	
講義ユニット コーディネーター	いちのへ たつお 一戸 辰夫	所属	血液内科 (内線 5858)	
		メール	nohe@hiroshima-u.ac.jp	
授業方法	対話的講義形式。スライド呈示に加えて、適宜、学生への質問を行いながら進める。			
概要	造血の仕組み・血球の形態とその異常について理解するとともに分子細胞レベルでの検査法を理解し、代表的な成人血液疾患の診断と治療についての基礎知識を習得する。			
講義ユニットの 到達目標	<p>骨髄の構造を説明できる。</p> <p>造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。</p> <p>脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer（パイエル）板の構造と機能を説明できる。</p> <p>血漿蛋白質の種類と機能を説明できる。</p> <p>赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明できる。</p> <p>白血球の種類と機能を説明できる。</p> <p>血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。</p> <p>貧血の原因、分類と病態を説明できる。</p> <p>貧血を分類し、鑑別に有用な検査を列挙できる。</p> <p>貧血患者の診断の要点を説明できる。</p> <p>鉄欠乏性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。</p> <p>再生不良性貧血の病因、病態、診断、治療と予後を説明できる。</p> <p>溶血性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。</p> <p>巨赤芽球性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。</p> <p>急性白血病の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。</p> <p>骨髄異形成症候群<MDS>の臨床像を説明できる。</p> <p>骨髄増殖性腫瘍の病因、病態、診断と治療を説明できる。</p> <p>悪性リンパ腫の分類を概説し、病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。</p> <p>成人T細胞白血病の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。</p> <p>多発性骨髄腫の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。</p> <p>血液疾患の治療に用いられる代表的な分子標的薬とその作用機序を説明できる。</p> <p>出血傾向の原因と病態を説明できる。</p> <p>血栓傾向の病因、病態、症候と診断を説明できる。</p> <p>出血傾向を呈する患者の診断の要点を説明できる。</p> <p>特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) の病態、症候、診断と治療を説明できる。</p> <p>血友病の病態、症候、診断、治療と遺伝形式を説明できる。</p> <p>播種性血管内凝固 (DIC) の基礎疾患、病態、診断と治療を説明できる。</p> <p>血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP) の原因、病態、診断と治療を説明できる。</p> <p>深部静脈血栓症 (DVT) の原因、病態、診断と治療を説明できる。</p> <p>再生医療、免疫療法としての造血幹細胞移植療法の概略を説明できる。</p>			
講義日程	別紙日程表を参照のこと			
出席の取り扱い	出席は、試験の受験要件には含めない。			
評価項目	到達目標の達成度 (基本的理解と知識の応用)			
評価法	MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は60点とする。			

推奨参考書

【購入を推奨する参考書】

Principle and Practice 「血液・造血系・リンパ系」 医学生・レジデントのための
必修エッセンス 文光堂 7500円
新版 臨床免疫学 第3版 講談社 5400円